

蚊



イラスト:厚生労働省ホームページより抜粋

に気をつけましょう!

～蚊は、病気を運ぶことがあります～



☑蚊をふやさない

「かゆい」
だけじゃ
ないよ!

<幼虫 (ボウフラ) 対策>

◎住まいの周囲にある『たまり水』を、週に一度は捨てましょう。

成虫のメスは、卵を産むために吸血します。

空き缶や溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み受けます。

卵から成虫になるまで、1～2週間、水中で生活します。



古タイヤに
溜まった水たまり



雨ざらしのじょうろ



屋外に放置された
子供のおもちゃ



屋外に放置された
ギン・缶、ベントボトル



植木鉢の皿

イラスト:厚生労働省ホームページより抜粋

<成虫対策>

◎雑草の草刈りなどを行い、蚊が潜む場所を減らしましょう。

☑蚊に刺されない

◎長そで・長ズボンを着用し、肌を露出させないようにしましょう。

◎虫除け剤は用法・用量を確認して使いましょう。

◎蚊のいる場所(雑草の茂った場所など)は避けましょう。

◎網戸を設置したり、ドアの開閉を少なくして、
蚊を家に入れないようにしましょう。

【事務担当】

藤沢市保健所 保健予防課

電話:0466(50)3593(直通)

FAX:0466(28)2121

海外に渡航される方へ

～ 輸入感染症にご注意ください～

★蚊が媒介する感染症(デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、マラリアなど)は、世界中の熱帯・亜熱帯地域で流行しています。流行地で蚊に刺されて感染し、帰国後に発症する人が多くなっています。渡航前に現地の感染症情報を確認してください。

★ジカウイルスに感染した妊婦から生まれた赤ちゃんにおいて、小頭症等のリスクが増加することが報告されています。妊婦及び妊娠の可能性のある方は、可能な限り流行地域への渡航を控えてください。

☞厚生労働省検疫所ホームページ FORTH: <http://www.forth.go.jp/index.html>

Q: 蚊が媒介する病気(蚊媒介感染症)はどんな種類があるのですか?

A: デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、マラリア、日本脳炎、ウエストナイル熱などがあります。藤沢市では、蚊媒介感染症の発生届が毎年数件報告されますが、そのほとんどが海外での感染です。ただし、日本では2014年8月に代々木公園を感染源としたデング熱の集団感染がありましたので、注意を続けていくことが必要です。

Q: 蚊→人 どのようにして感染するのですか?

A: 蚊媒介感染症に感染した人の血を吸った蚊の体内で病原体が増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を拡げていきます。すべての蚊が病原体を持っているわけではありません。

Q: 感染すると、どんな症状が出ますか?

A: 感染してもすべての人に症状が出るわけではありませんが、たとえばデング熱・チクングニア熱は発熱や関節の痛み、発疹などが出る場合があります。(病気の種類により症状は異なります)



【写真】吸血中のヒトスジシマカ雌成虫
(出典: 国立感染症研究所(ASR)ホームページ)

Q: 感染を媒介する蚊は日本にいますか?

A: 日本には、ヤブカ属のヒトスジシマカ、イエカ属のアカイエカ・チカイエカなどが生息しています。それぞれの蚊で媒介する感染症は異なります。ヒトスジシマカは、デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症を媒介することが知られています。

チラシについての問い合わせ先: 藤沢市保健所 保健予防課 0466(50)3593(直通)

市では、市民の皆さんのお問い合わせなどに答える年中無休の電話窓口を開設しています

■健康相談、医療相談、医療機関情報など

「ふじさわ安心ダイヤル24」 ☎0120-26-0070(フリーダイヤル) 【24時間】年中無休

■「市に問い合わせたいことがあるけれど窓口が分からない」、「市での申請や手続きの方法をしりたい」など
「藤沢市コールセンター」 ☎0466(28)1000 【午前8時～午後9時】年中無休

※個人情報参照しなければ回答できない場合や専門的な問い合わせの場合は担当課に取り次ぎます。